神戸市と新産業創造研究機構

枚岡合金工具で３Ｓ工場見学会・講習会

神戸市および新産業創造研究機構（ＮＩＲＯ）が主催した「３Ｓ工場見学会＆３Ｓ講習会」が５月21日、枚岡合金工具（大阪市生野区、社長・古芝義福氏）で開催され、25人が参加した。同社工場でのプレゼンテーションや清掃体験、工場・事務所の見学を行った。

枚岡合金工具は１９４９年の創業。３Ｓにこだわり経営改革を成し遂げた、大阪の金型メーカー。事業の柱は金型、ＩＴ（文書管理システム「デジタルドルフィンズ」）、教育（３Ｓ活動と経営革新に関する講演・コンサルティング）。同社はバブル崩壊から６年後に創業以来の赤字に転落。京都のタナカテックの工場見学が契機となり、コンサルタントの助言も得つつ99年に３Ｓ（整理・整頓・清掃）活動を開始した。

講演する古芝枚岡合金工具会長

徹底３Ｓ活動の改善事例では「工具棚」がある。改善により工具を探す時間は60～３００秒が３秒となり、余剰発注もゼロになったという。改善には２人で28時間を要し棚費用も発生（約17万円）したが、年間の改善効果は約94万円になった。その他では、「机の一番上の引き出しの定位置・定量・定方向化（スポンジ状シートを活用）」や「作業台の立ち姿勢での活用」などがある。

枚岡合金工具の古芝保治代表取締役会長は「儲けとツキを呼ぶ『徹底３Ｓ活動』成功の秘訣」をテーマに講話した。「３Ｓの目的は安全・快適・効率的な職場づくりにある。３Ｓの対象は場所・モノ・情報・心。清掃では会社の中を６ブロックに分けそのうちの１ブロックを10分間、全社員でとにかく磨く。その達成感が各自の自信につながり、社内の風通しも良くなった。もちろん会長、社長も社員とともに一緒に作業をすることが大事。徹底３Ｓ活動の成功には①守ることを決めて、決めたことを守る②ＩＴ＆ＤＸで顧客創造＆経費最小化③人生２度なし、『積小為大』（二宮尊徳）が人間力を磨く―ことにある。賞与によるフィードバックも必要。３Ｓ継続のためには全員で行動し、『認めて、褒めて、愛して、育てる！』姿勢が欠かせない」という。

古芝会長は、「せっかくの機会なので最低三つは実践してほしい。書類ファイル背表紙に斜めに線を引くか、引き出しのモノをすべて出し必要なものだけを入れるとか。実践すれば自分のものになるし、きっと皆さんの人生が変わります よ」とアドバイスした。

北工場での清掃体験では、参加者全員が洗浄剤シンプルグリーンと紙ウエスで床を熱心に清掃した。清掃にはゴミなし、チリなし、ホコリなし、汚れなし、ピカピカの５段階があるという。同社では清掃のレベルを、素足で歩け、天井の明かりが映るピカピカの状態を維持している。

続いて参加者は工場および事務所を見学。事務所の天井クーラーには大型ファンが付けられているが、型が少し違う。担当者は「手前の大型ファンは購入したが、奥のものは市販品を元に自社で自作した」と説明した。

ＩＴ事業部担当者が講演「情報の３Ｓ」を行った。自動機の稼働状況取得の改善例として、自動機の加工ランプの光を明るさセンサで取得。データを見える化した。マシニングセンタの稼働率は２０２１年３月の33％が同年11月には48％に改善された。自動機の温度管理なども改善した。

（白木　毅俊）

３Ｓ工場見学会㊤と北工場での清掃体験